

続々生まれる新W.Coを紹介します！

安心安全な食、インフォーマルサービス、居場所づくりなど、さまざまな分野でのニーズを模索しながら、今、千葉に新たなワーカーズ・コレクティブが次々と生まれつつあります。その新しい歩みの数々を紹介합니다。

デリカワーカーズ グラッセ 誕生！

2011年5月、生活クラブの大津ヶ丘デポで、20年ほど続いていたワーカーズコレクティブ「かい」の惣菜部門「キャロット」が閉所となりました。これまで大津ヶ丘デポの惣菜・弁当の需要は高く、これからも組合員や地域に求められていく部門であると考えられ、新しいワーカーズの立ち上げが望まれていました。

そこで、ワーカーズコレクティブ千葉県連合会主催のワコレ起業講座が数回にわたり行われました。20人ほどの参加者の中から6人がメンバーとなり、11月に、新しいデリカワーカーズ「グラッセ」を立ち上げ、12月13日にオープンしました。

「グラッセ」という名前は長年親しま



調理場は時間との闘い

れた「キャロット」にちなみ、「にんじん」の料理の中から名付けました。和・洋・中…幅広い料理に使われるにんじん、主役ではないけれど、ハンバーグなどに添えて主役を引き立てるグラッセ…。そのような存在として、のどかな大津ヶ丘に根付いていくといいな、という思いをこめて。

オープンから2カ月が過ぎました。準備期間中にはレシピ作りや調理実習の時間もあまり取れませんでした。今は先輩ワーカーズの皆さんに教えていただいたり、試作によるレシピ作りをしながら、少しずつレパートリーを増やしています。

メンバーが増えず人手の少ない日も多いですが、デポの開店時刻に出荷できるよう、毎朝時間と闘いながら頑張っています。

多世代が利用しやすく、みんなが笑顔になれるデリカを提供できるよう、心をこめて作っていきます。

また、「ういず」のインフォーマルサービス事業との連携により、誰もがありのままに暮らせる街づくりに繋がっていったらと思っています。

ワーカーズコレクティブ グラッセ
大久保千穂

2号店「大津ヶ丘スペース結」オープン！

ういず

3月14日、大津ヶ丘団地中央商店街の中（大津ヶ丘デポ斜め前）に、ういずの2号店がオープンしました。

この2号店は、昨年開かれた生活クラブ風の村インフォーマルサービス創設プロジェクトからの支援を受け、風の村インフォーマルサービス創設・活動支援事業ならびに千葉県地域支えあい体制づくり補助金実施事業として開設に至ったものです。

ういずは、かねてより地域福祉、とりわけ高齢者に向けての有償家事支援サービス（買物・掃除・洗濯等の家事全般の支援）を地域の助けあい市民事



団地商店街の中に地域交流の場を

業として起こしていきたいという願いがありました。しかし、なかなか道が開かれず試行錯誤していたところ、4年前に松葉町の住宅地の中の空家を借りることができるという大きな転機がありました。そこを拠点にして常設の地域交流の場「民家ギャラリー結」を開設すると、見る間に近隣住民のアウトホームなたまり場になりました。顔の見える関係がつくれたことで、ごく自然な流れで生活支援サービスに結びついて市民事業の形を作ってきました。そこからヒントを得て、今度は、意識的に生活支援に繋げる居場所づくりをしていこうというのが、大津ヶ丘での意気込みです。

ここでは、無料の「よろずお困りと相談室」やどなたでも気軽に立ち寄れる「お立ち寄りスペース・ギャラリー」、手作り品のレンタルボックス、常設の日用雑貨小物販売コーナー、各種講座や体験会などなど…いろいろな入り口を作って、地域のニーズを掘り

ふくちゃん 地域の居場所づくりに奔走中！

場所を探しています

設立総会が12月18日に滞りなく終わって、すでに2カ月が過ぎました。

居場所となる家を1月17日皆でお掃除に行き、足りない物などリストアップして、掃除の後買い出しに行きました。少しでも安い物をとって何軒も回り、安くてきれいな品をゲットしてきました。冷蔵庫、照明器具、それに座布団等いろいろ運びこみました。後日、カーテン、看板、カーペット、その他細かい物をそろえるつもりでいました。そしてご近所にご挨拶回り。いよいよスタートします、後戻りできないと覚悟しました。チラシの原稿チェック、配布場所の確認手配、万端整いました。

オープンセレモニーの準備、買い出しの品目、近所に配るお菓子の予約、わくわくしながら、みんなでワイワイ楽しく準備しました。

ところが、ご近所から思いもよらないクレームがあり、その後の話し合いでもご理解が得られず、オープンを断念しました。不動産のキャンセル、電話工事キャンセル、お菓子の予約キャンセル等めまぐるしく、後戻りすることになりました、本当にガックリしました。でも、ここで引き下がるわけにはいきません、設立総会で皆さんにお披露目したことだし、また、居場所探しを始めます。ゆっくり、じっくり

計画を練って、失敗のないように、と与えられた時間かも？ 始める時間が先あって、そこに向かって進んだので、あまり考える時間もなくて、あたたかさと始まったというのが今の心境です。居場所だけでは、家賃にもならない、買い物代行もあまり需要がないこともわかりました。もっと違うこともやっつけていかなくては、立ち上げてみてもすぐボヤってしまうんじゃないかな。絶対失敗しない、皆で心をひとつにしてまた最初からやり直します。皆様のご協力よろしくお願ひします。ワーカーズコレクティブふくちゃん 高野優美子

W.Coのとおきレシピ recipe

揚げ鶏のねぎソースがけ

初めてお弁当の注文を受けた時のおかずの主役は、これでした。その後定番となり、「これがおいしいのよ」と出荷と同時に買い上げくださるリピーターのうれしい声もありました。

- ①鶏むね肉は一口大に切り、酒と醤油で下味を付ける。
- ②同量の醤油・砂糖・酢にねぎのみじん切りと生姜のすりおろしを加え、ねぎソースを作る。
- ③①に片栗粉を付けて揚げ、熱いうちに②のねぎソースをからめる。

鶏肉の他、鰯など魚料理にもアレンジできます。



おあめです！



揚げ鶏のねぎソースがけが入ったお弁当

インフォーマルサービス 担い手講座を開催

介護保険制度の改定に伴って、ヘルパーの仕事から切り離される生活支援サービスを担う人材が多く必要となります。ボランティアな活動になっている場合が多い家事支援サービスですが、それをネットワーク化し事業化してきた実績がW.Coにはあります。今後予測される市町村への権限移管までに家事サービスを生み出し実績を積み上げることで、安心して暮らせる街づくりの先導役を担えるよう、千葉グループ団体との連帯を視野に、起業講座を開催します。

県内で4カ所のインフォーマルサービスのW.Coを立ち上げることを計画しています。大津ヶ丘（スペース結）と成田（ふくちゃん）の担い手は決まっています。

今後は、船橋と市川での立ち上げを目指し、起業講座を開催します。

講座内容は——
インフォーマルサービス基礎知識・座学・事例・心構えなど8講座
1回目 無料説明会
その後、月1回のペースで4回講座受講料 8000円
募集は各地域10名程度
*風の村などからの講師を予定しています。

住み慣れた地域で安心して暮らすために、生活支援始めてみませんか。

設立支援部 中村和子

